

令和 5 年 9 月 6 日

熊取町議会  
議長 河合 弘樹 様

熊取町長 藤原 敏司

第 129 回 大阪府原子炉問題審議会の概要について

令和 5 年 8 月 9 日（水）に開催された第 129 回大阪府原子炉問題審議会の概要について報告します。

1. 開催日時 令和 5 年 8 月 9 日（水） 午後 3 時 15 分

2. 開催場所 大阪府庁新別館南館 8 階大研修室

3. 熊取町出席者（敬称略）

河合 弘樹	熊取町議会議長
田中 豊一	熊取町原子力問題調査特別委員会委員長
藤原 重弘	熊取町原子力問題対策協議会委員長
藤原 敏司	熊取町長

4. 議題

(1) 役員の選任について

副会長 2 名のうち 1 名が不在となっていたため、紀田 馨氏（大阪府議会議員）が選任されました。

(2) 京都大学複合原子力科学研究所の安全性等について

1. 原子炉施設の状況等について

①京都大学研究用原子炉（KUR）及び京都大学臨界集合体実験装置（KUCA）の利用等について

令和 4 年度の KUR、KUCA 及び他の放射線施設等の利用については、全国 105 の大学、研究機関等から延べ 2,640 人・日の研究者・学生が来所し、共同利用等に係る実験・研究が行われたこと、また、令和 5 年度の KUR は、令和 5 年 7 月 25 日から令和 6 年 2 月 15 日までの間、利用運転を行う予定で、KUCA については、低濃縮燃料での運転切り替えのため、令和 3 年 7 月末から運転を休止しているとの報告がありました。

②原子炉設置変更承認申請（KUR の変更）について

令和 3 年 8 月 17 日の本審議会で報告のあった関係規則の解釈の一部改正に伴う原子力規制委員会からの指示に基づく基準地震動  $S_s$  の追加及び関連する評価を追加するための原子炉設置変更承認申請について、令和 3 年 12 月 14 日付けで原子力規制委員会へ申請し、原子力規制庁によるヒアリング、審査会合の後、3 回の補正申請を経て、令和 5 年 6 月 22 日付けで原子力規制委員会に承認されたとの報告がありました。

③KUCA 燃料の低濃縮化の状況等について

平成 28 年の核セキュリティ・サミットにて日米合意された KUCA の低濃縮化については、令和元年 5 月 31 日付けで申請した原子炉設置変更承認申請（KUCA）が令和 4 年 4 月 28 日付けで原子力規制委員会に承認され、現在、燃料の製造に係る許認可手続きを行っているところ

ろであり、同許認可手続きの終了後、燃料の製造・搬入・使用前事業者検査等を経て、令和6年度中には低濃縮燃料により運転を開始し、引き続き原子炉物理等の基礎研究や国内外の学生を対象とした実験教育・人材教育を行っていくとの報告がありました。

## 2. 第二研究棟の竣工について

令和3年8月の本審議会で報告のあった総合研究棟の改修・増築について、令和5年4月末に第二研究棟が竣工したとの報告がありました。

本研究棟は、研究教育環境の充実を目的とした研究・実験スペースの他に、原子炉施設等の安全管理部・室を集約することで、日々の安全管理体制や原子力災害対策の一層の強化・向上や技術者の人材育成等を図っていくこと、また、既存の研究棟（第一研究棟）についても、令和5年度中に全面改修を行うことになっており、今後、KURの停止後も見据え、本研究所の他の実験施設とともに本総合研究棟（第一・第二研究棟）を活用し、原子力・放射線を利用した独創的・先端的な複合原子力科学を一層推進していく旨の報告がありました。

## (3) 京都大学複合原子力科学研究所定例報告について

令和4年6月から令和5年5月までの原子炉の運転状況、令和5年度共同利用研究及び研究会の採択状況、令和4年4月から令和5年3月までの環境放射能測定結果が冊子により報告されました。

環境放射能測定報告では、原子炉施設に起因するものと考えられる人工放射能は検出されず、周辺環境における放射能及び放射線は自然のレベルであり、住民の健康に影響を与える結果は見られないとの説明がありました。